

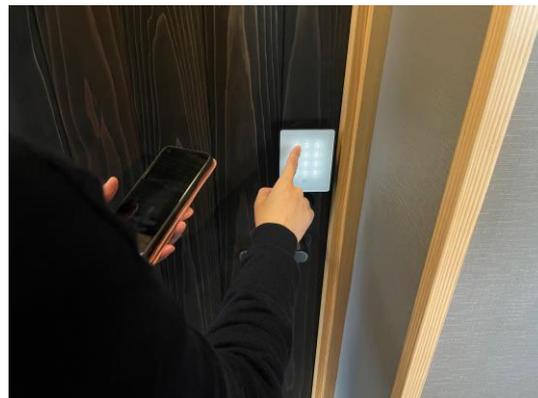
秩父エリア初！DXを活用したセルフチェックイン×古民家ホテル

セルフスタイル古民家ホテル「番場おおそね」7月開業

全国旅行支援サービススタートと共に、本格稼働！



■「番場おおそね」外観



■セルフチェックインの様子

埼玉県秩父市で令和4年7月からClassic&modern SELF-STYLED HOTEL「番場おおそね」を運営している株式会社和銅鉱泉旅館（広報担当：町田 亮 まちだ りょう）と申します。当宿は、秩父神社前からのびる番場通り沿い、西武秩父駅から徒歩で8分の場所にあり、築100年以上の古民家をリノベーションしたホテル（全6室）を運営しております。古民家の柱や梁、障子、ガラス戸などをできるだけ残し、活用した部屋を提供しており、庭のある部屋や蔵一つをそのまま使用したお部屋などがあります。また、セルフチェックイン方式を取り入れており、鍵いらず暗証番号のみで、気軽にお部屋に入ることができるようになっております。

ホテルの周りには飲食店が多くあるため、夕食はなしとなっております。より秩父の街が楽しめるようになっております。

10月から全国旅行支援クーポンがスタートし、その影響で7月オープン時よりも予約が増えており、現在、土日に関しては9割以上の稼働率となっております。それに伴い、当宿も本格的に稼働し、全国に向けて広報することで、秋の行楽シーズンに向けて、秩父エリアの地域の活性化に繋がっていきたいと考えております。

つきましては、ぜひ、貴番組・貴紙にて取材の程、宜しくお願いします。

1. 【顧客ターゲット】「これまで旅行を控えていた全国の方」

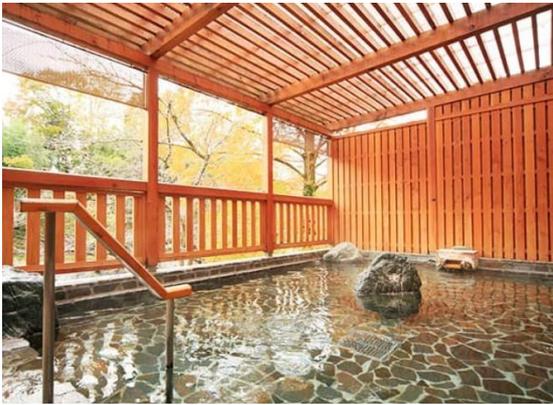
詳細⇒秩父が好きで古民家、レトロが好きな方で、非日常空間を楽しみたい方

2. 【コンセプト】 「新規性」×「お宿（古民家ホテル）」

詳細⇒最新技術（DX を活用したセルフチェックイン）×古民家ホテル
（築150年）

3. 【強み】「同じエリアで旅館を運営している」

詳細⇒秩父七湯で、最も古い歴史を持つ和銅鉱泉の“薬師の湯”を備えた旅館
「和銅鉱泉旅館 ゆの宿和どう」を運営。日帰り入浴可能。
「番場おおそね」からタクシーで15分の場所にあります。



4. 【リリースのポイント3つ】 ※ホテルでのオススメの場所



<貸し切り風呂>



<202-小屋組->



<103-蔵->

5. 【このホテルをはじめた理由】または【目標&夢】

秩父地域は、都心からアクセスが良い反面、観光や旅行では、日帰りの方が9割以上に上り、滞在日数の短さが懸念されておりました。秩父の中心地にある当ホテルを利用していただくことにより、お客様には気軽に次の日も秩父を楽

しんでいただき、秩父の観光スポットにより足が延ばしやすくなり、結果、少しでも秩父の地域貢献につながるようにしたいと思っております。また、古民家ホテルといういつもと違った雰囲気のホテルに滞在していただくことにより、お客様の満足度アップにも繋がりたいと思っております。

<以下、参考資料>

■代表者（4代目） 町田 啓介（まちだ けいすけ）



- 1959年 和銅鉱泉旅館を創業
- 1995年 秩父菓子処栗助（和菓子屋）を開業
- 2001年 4代目社長就任
- 2009年 茶房レストラン「春夏秋冬」を開業
- 2022年 秩父芋菓子専門店「芋うらら」を開業
- 2022年 7月にセルフスタイル古民家ホテル「番場おおそね」開業

■彩の国経営革新モデル企業認定（2008年）

■施設概要

名称	セルフスタイル古民家ホテル「番場おおそね」
特徴	秩父エリア初！DXを活用したセルフチェックイン×古民家ホテル
開業	令和4年7月12日（金）
予約方法	HP か 楽天トラベル
価格	1泊2日（2名利用）¥11,000（税込）～

<資料に関してのお問合せ先>

セルフスタイル古民家ホテル「番場おおそね」広報担当：町田 亮
 電話：0494-53-9277 FAX：0494-53-9288
 E-Mail： banba.oosone@gmail.com
 HPアドレス https://www.wadoh.co.jp/banba_oosone/
 住所 〒368-0041 秩父市番場町19-2